

## 双葉通信【第 244 回】(人生は旅人No.26) “ふくしまに恋をして 福島人に”

2025 年 4 月 20 日 上田 勉

長かった冬が終わって、春・桜  の季節がやって來た！！

福島県は、会津・中通り・浜通りの 3 つの地方に分かれています。会津と中通りの間には奥羽山脈が、中通りと浜通りの間には阿武隈山系がそれぞれ南北に通っています。会津は豪雪地帯です。この冬は例年になく大雪で、JR 只見線は、会津川口駅 ⇄ 只見駅で現在も不通です。雪崩の危険があることが理由です。

福島県にも、長い冬が終わって、春がやって來ました。福島県の春は、何といつても “ 桜” です。川や道路に沿った桜並木もありますが（夜の森の桜並木等々）、やはり 1 本の“枝垂れ（しだれ）桜（三春の滝桜等々）”が一番です。こちらでは、上野公園のような、花見で飲食はあまりしません。コロナの前はどうだったか知りませんが。また、地元の桜は春の生活の一部なので、桜が咲いても、地元の人達にとっては余り関心が無いみたいです。よそ者の私から見たら、素晴らしい桜なのに、見物人の多くは、よそから來た人達です。咲く順番も、枝垂れ桜 ⇒ ソメイヨシノ ⇒ 八重桜の順番です。

今年も 7 人の人達が桜見物に來てくれて、案内しました。桜が満開に咲く時期とその日の天候は、全く他人任せです。お客様達は、多分被災地のことは忘れて、桜や食事のことを思い出にしていると思います。

田村市では、「田村の美桜 88 景 MAP」を発行しました。私はその MAP を見て、各地を巡りました。田村市のすごいところは、桜のある現地に看板があることです。直ぐに場所が分かります。私は今まで紙の道路地図帳でしたが、今回初めてカーナビを使ってみました。住所を入力すると、目的地に着きます。感動しました。しかし、道路が狭くて、私の軽自動車でも引き返した箇所もいくつかありました。道路に駐車して写真を撮るのですが。広い道路は交通量が多く、狭い道路は U ターンするのが怖くて大変です。

楢葉町でも、多くの個所を車で巡りました。土地勘はありますが。道路を走っていると、至るところや思わぬところに見事な桜が咲いていて、大発見でした。

帰還困難区域でも、桜は毎年花を咲かせます。人間が手入れをしなくても、桜の生命力は大したものです。

一方で、何百年も咲いていて、老朽化した桜もあります。道路の桜並木では、住民が反対したにも関わらず、通行に危険だということで、切られた桜もありました。

雨や風がありましたが、気温が低いこともあって、3 週間ぐらい桜を楽しむことが出来ました。桜はなぜか一斉に咲いて、一斉に散ってしまいます。

春はあっという間に過ぎて、もう直ぐ暑い夏が来そうです。桜の開花に合わせて、うぐいすの鳴き声が早朝から聞かれるようになりました。うるさいと思いますが、鳥の鳴き声で目を覚ますのは、ぜいたくなのかかもしれません。夏はカエルやセミの鳴き声、秋はコオロギの鳴き声で、季節を感じることが出来ます。



【下日向の綾の桜 〈田村市〉】(4月 18日撮影)



【咲く桜 〈大熊町〉】(4月 11日撮影)